

①ふりかえり



前回の誌面のふりかえりを実施しました。
第29号は、レイアウト・デザインをプロにおまかせし、
市民の方に「手に取ってもらいやすい」デザインにこだわりました。
第30号は、さらに「パツと目にとまり、引き込まれる」1面を作りたい！と、
表紙にマンガをレイアウトする案が出ました。

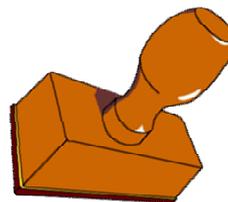
②テーマ決定

第29号を作る課程で候補として上がった題材の中で、誌面に掲載しなかったものをふりかえって、テーマを選定。

- ・ ごみ減量と教育の関係について「小学校へのごみの出前授業」
- ・ 海ごみとプラスチックスマート
- ・ 災害廃棄物対策の啓発記事 など…

今回、新たに出た意見もたくさんありました。

- ・ リチウムイオン電池発火事故増加について
- ・ 持ちごみが増加傾向に→「粗大ごみ」に関するリサイクルトーク
- ・ 日々のごみ出しの際に使える裏技・豆知識
- ・ 環境にも健康にもいい植物について
- ・ 一斉清掃で除草作業をした際の草の捨て方について
- ・ 「ごみ」という言葉の歴史(「ごみ」=不要なものではなかった)
- ・ 収集員の方々が感じるごみを出すときに気をつけてほしいこと
- ・ 可燃ごみを減らすためにできること



採用



③レイアウト

【外面】

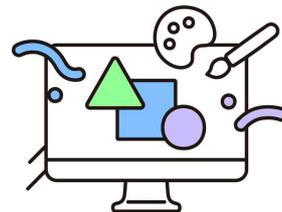
リサイクルトーク 粗大ごみの手放し方編 ・市の大ごみで出す ・西秋川帯性組合へ持ち込む ・リサイクルショップへ持ち込む ・「ジモティ」の活用 ・「ウリドキ！（一括査定サイト）」の活用 など	へらすぞう 西秋川衛生組合 火災発生時の写真 リチウムイオン電池搭載製品 写真で伝わりやすいように
---	---

【中面】

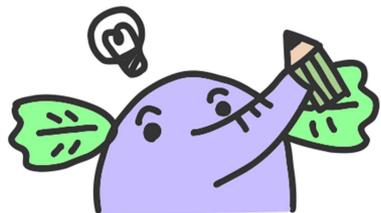
粗大ごみについて
 【内容】
 ①あきる野市のごみ量の中で、粗大ごみが増加傾向にある
 ②粗大ごみの処理過程について
 （破砕機にかけて砕き、金属類を分別し回収⇒資源
 金属以外の部分は、可燃ごみと混ぜられ焼却処分となる）



会議の意見をとりまとめ作成したレイアウト案をプロのデザイナーさんに投げかけ、誌面が形になってきました。



④原稿作成

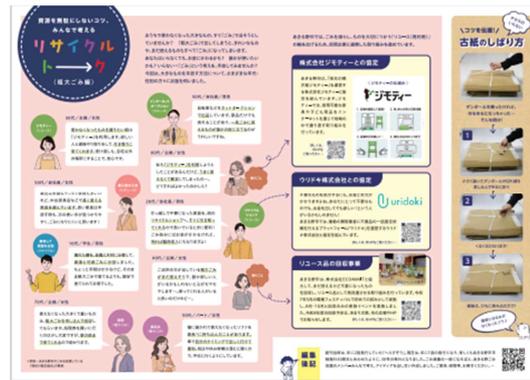


あきる野ごみ会議のメンバーで「へらすぞう編集委員」を結成。へらうぞう編集会議を開き、原稿の作成をお願いしました。リサイクルトーク誌面の作成のため、委員の皆さんの実体験や身近な方にインタビューを記事にまとめていただきました。

よりよいものをお届けできるよう、委員の皆さんは誌面を、細かくチェックしています。一人の目では、気づけないミスも皆さんでチェックすると見つけられたり、文章の構成に悩むときも、議論の中で「これだ！」というものをひらめいたり。メンバー一丸となって、作り上げました！



⑤完成



ついに完成！

皆さまのお手元にお届けできるのが楽しみです！

町内会・自治会の回覧や小学校・幼稚園等のおたより配信イベントなどでも配布します。